

# GAP 認証制度の比較

(平成30年5月)

	「国ガイドライン」に準拠したGAP			GLOBAL G.A.P.
	東京都GAP	JGAP (旧 JGAP-Basic )	ASIAGAP (旧 JGAP Advance)	
性格 (主旨)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都が策定したGAP認証制度</li> <li>①持続可能な東京農業の実現と②東京2020大会における都内産農産物の活用に向け、「国ガイドライン」に都市農業の特徴を加味して策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本GAP協会によるGAP認証制度</li> <li>食の安全や環境保全への取組を評価するため、国内の生産法人、小売業等が参加して策定</li> <li>ASIAGAPは、GFSI 承認の国際規格として展開することを目指すスキーム</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国際的なGAP認証制度</li> <li>欧州において小売業団体が生産者の環境保全型農業への取組を評価するため策定</li> </ul>
策定機関 (運営主体)	東京都	日本GAP協会(民間)		フードプラス(ドイツ、民間)
指定審査機関	東京都GAP認証審査会	4団体(民間)		5団体(民間)
対象品目	野菜・果樹	青果物・穀物・茶・畜産物	青果物・穀物・茶	農作物全般・畜産物・水産物
審査費用 (概算)	[取得審査] 無償 [更新審査] 無償 * 認証期間は5年(毎年、検査と指導を実施) * 認証取得者は、毎年研修会を受講	[取得審査] 10万円程度+旅費 [維持・更新審査] 10万円程度+旅費 * 認証期間は2年(期間中に維持審査が必要)		[取得審査] 25~55万円程度+旅費 [更新審査] 25~55万円程度+旅費 * 認証期間は1年(更新審査は毎年)
普及エリア	東京都内	日本国内	アジア (アジア以外にも拡大予定)	海外各地
オリパラ 調達基準	○	○		○
国内認証数	H30.4月スタート	3,519件(H29.3月末現在)	582件(H29.3月末現在)	479件(H29.12月末現在)